

# 2023年3月期 上期 (2022年4月1日～9月30日) 決算説明資料

2022年11月4日  
IDEC 株式会社  
証券コード：6652

みなさま、IDEC上期業績発表にご参加いただきまして、誠にありがとうございます。  
まず上期の業績についてご説明しますが、世界的な投資拡大の影響が非常に大きいと思います。当然、我々も拠点再編や生産設備の増強、その他価格改定も含めてあらゆる施策を打ちました。

その結果、売上高は432億円、営業利益率は17.5パーセントと、半期ベースで過去最高を更新しました。それと同時に、今後の事業展開には非常に危機感を持っているというのが、私の考えです。配当は、好調な業績を踏まえて、中間配当を50円から65円に増配し、年間配当を130円としたいと思います。通期業績予想は今のところ変更しておりません。  
5月に発表した新中期経営計画を初年度で達成したため、改めて新中期経営計画を作り上げているところです。

現在、アルプスアルパインとの合併会社において新商品を開発し、市場投入を予定しており、業務提携しているフランスのez-Wheel社の製品を活用したソリューションで、AGVやAMRなどの業界に参入しています。

ソリューション提案を実現するために、新たな技術営業体制を立ち上げました。ソリューションを提供することにより、付加価値率を今まで以上に上げていくことを計画しています。

また、生産における改革を行い、コストダウンをより図っていきたいと考えています。

今後の事業体制は形態がどんどん変わっていくため、投資などについても根本的なところから見直しを考えています。

来年、新年度が始まる頃には新中期経営計画を発表しますが、来期以降も継続して高収益体質の会社とし、事業を拡大していきたいと考えています。

**半期ベースで過去最高の売上高、利益を更新し、営業利益率17.5%を達成！  
配当は期初予想から15円増配し、65円に上方修正**

売上	■ 売上高	<u>432億円</u>	(前年同期比 +23.9%)
	- スイッチ事業や安全・防爆事業を中心に、国内外で伸長		
利益	■ 営業利益	<u>76億円</u>	(前年同期比 +55.8%)
	■ 経常利益	<u>81億円</u>	(前年同期比 +62.1%)
	■ 当期純利益	<u>57億円</u>	(前年同期比 +61.4%)
- 増収効果に加え、売価の適正化により原材料価格高騰の影響を克服、円安効果も寄与し、粗利率も改善するなど大幅な増益を達成			
配当	■ 中間配当	<u>65円</u>	(前年同期比 +25円)

上期の業績については、原材料価格の高騰や、部材調達のひっ迫等の懸念材料はありましたが、グローバルで製造業の設備投資需要が堅調に推移し、スイッチ事業や安全・防爆事業を中心とする主力事業が国内外で伸長いたしました。

日本、海外ともに大幅な増収増益となった結果、前期に続いて、半期で過去最高となる、売上高、利益を達成いたしました。

営業利益率は前期より3.6%上昇し、こちらも過去最高の17.5%となりました。

また配当につきましては、期初予想の50円から15円増配し、65円に上方修正いたしました。

## 連結業績概要 <連結損益計算書> - 1



(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期		
	実績	対売上比	実績	対売上比	前年同期比
売上高	34,856	100.0%	<b>43,180</b>	<b>100.0%</b>	+23.9%
売上総利益	14,919	42.8%	<b>19,006</b>	<b>44.0%</b>	+27.4%
販売費及び一般管理費	10,066	28.9%	<b>11,446</b>	<b>26.5%</b>	+13.7%
営業利益	4,853	13.9%	<b>7,559</b>	<b>17.5%</b>	+55.8%
経常利益	5,022	14.4%	<b>8,140</b>	<b>18.9%</b>	+62.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,526	10.1%	<b>5,694</b>	<b>13.2%</b>	+61.4%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	117.58円	-	<b>196.01円</b>	-	+78.43円
米ドル平均レート (円)	109.81円		<b>134.04円</b>		+24.23円
ユーロ平均レート (円)	129.88円		<b>134.39円</b>		+4.51円
人民元平均レート (円)	16.99円		<b>19.89円</b>		+2.90円

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

3

連結損益計算書はご覧の通りですが、一部部材の高騰や、円安影響によるコスト増はありましたが、国内外における販売価格の適正化などにより、原価上昇を吸収し、粗利率は前期より1.2%改善し、44.0%となりました。

また、販売管理費の水準の適正化を図ることで、販管費率は前期より2.4%低減し、26.5%となりました。

国内外ともに好調に推移したことで、売上、利益ともに計画を上回る結果となりました。なお、現地通貨ベースでも、米州、EMEA、アジア・パシフィックは前期比、計画比ともに上回っております。

## 連結営業損益変動要因



増収効果や売価の適正化、円安の影響などにより、営業利益は前年同期比で約27億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

4

営業利益は、増収効果やグローバルで行った販売価格の適正化が寄与するとともに、円安の影響などにより、前期比で約27億円増加いたしました。

## 連結業績概要 <連結損益計算書> - 2



- 原材料の仕入れ価格上昇を踏まえ、特定顧客向けの製品価格見直しを行ったことなどにより利益率が向上し、**四半期ベースでも売上高、利益は過去最高を更新**

(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2022年3月期						2023年3月期				
	2Q (7-9月)		3Q (10-12月)		4Q (1-3月)		1Q (4-6月)		2Q (7-9月)		
	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	実績	売上比	前年同期比
売上高	17,585	100.0%	17,399	100.0%	18,533	100.0%	20,157	100.0%	<b>23,022</b>	<b>100.0%</b>	<b>+30.9%</b>
売上総利益	7,619	43.3%	7,514	43.2%	7,876	42.5%	8,629	42.8%	<b>10,376</b>	<b>45.1%</b>	<b>+36.2%</b>
販売費及び一般管理費	5,066	28.8%	5,173	29.7%	5,398	29.1%	5,476	27.2%	<b>5,970</b>	<b>25.9%</b>	<b>+17.8%</b>
営業利益	2,552	14.5%	2,340	13.5%	2,477	13.4%	3,153	15.6%	<b>4,406</b>	<b>19.1%</b>	<b>+72.6%</b>
経常利益	2,586	14.7%	2,468	14.2%	2,906	15.7%	3,562	17.7%	<b>4,577</b>	<b>19.9%</b>	<b>+77.0%</b>
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,727	9.8%	1,776	10.2%	2,592	14.0%	2,555	12.7%	<b>3,138</b>	<b>13.6%</b>	<b>+81.8%</b>
1株当たり四半期純利益 (潜在株式調整前)	57.58円	-	59.22円	-	89.37円	-	88.09円	-	<b>107.92円</b>	-	<b>+50.34円</b>

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

5

四半期別では、円安の影響や、増収効果により製造固定比率が低下したことに加え、原材料の仕入れ価格上昇を踏まえて、特定の顧客向けの製品価格見直しを行ったため、粗利率は45.1%、営業利益率は四半期ベースで最高となる19.1%となりました。

# 売上高・営業利益率（四半期推移）



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

6

過去からの売上高、営業利益率の推移はご覧の通りです。



## 仕向地別売上状況



(単位：百万円) ※百万円未満は切り捨て (構成比)	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年 同期比
日本	14,649 (42.0%)	17,264 (40.0%)	+17.8%
海外	20,206 (58.0%)	25,916 (60.0%)	+28.3%
米州	5,725 (16.4%)	7,731 (17.9%)	+35.0%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	5,972 (17.1%)	6,929 (16.0%)	+16.0%
アジア・ パシフィック	8,509 (24.4%)	11,255 (26.1%)	+32.3%
合計	34,856 (100.0%)	43,180 (100.0%)	+23.9%

### 日本 前期比 +17.8%

- 前期に引き続き、半導体関連・自動車関連・工作機械・ロボット業界等の需要が堅調に推移し、売上が伸長

### 海外 前期比 +28.3%

- 米州やEMEAでは、高水準の需要が継続し、円安効果もあり売上が増加
- 中国上海のロックダウンの影響は限定的で、その他のアジア地域の需要も堅調に推移

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

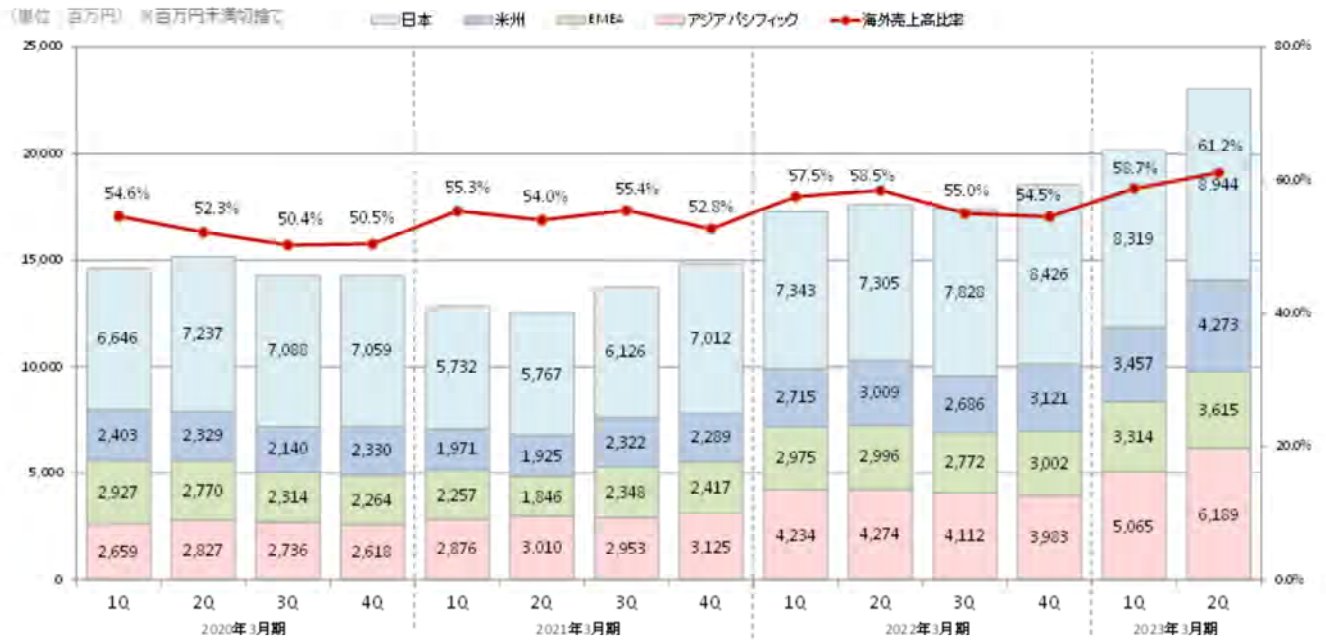
7

仕向地別の売上状況については、半導体・自動車・工作機械・ロボットといった各業界の需要が堅調に推移した結果、日本の売上は伸長いたしました。

米州やEMEAにおいては、高水準の需要が継続していることから、現地通貨ベースでも好調に推移しており、円安効果も寄与して、売上が増加いたしました。

アジア・パシフィックにおいては、中国や、その他のアジア地域の需要も堅調で、スイッチ事業やインダストリアルコンポーネンツ事業を中心に売上が伸長いたしました。

# 仕向地別売上状況（四半期推移）



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

国内外ともに売上は伸長いたしました。特に米州やアジア・パシフィックでの売上の伸びが大きかったため、海外売上高比率は61.2%となりました。



## 製品別売上状況



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て (構成比)	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年 同期比	
スイッチ事業	16,340 (46.9%)	<b>20,007</b> <b>(46.3%)</b>	+22.4%	<b>スイッチ事業</b> 設備投資需要の拡大により、グローバル全地域において売上が伸長
インダストリアルコンポーネンツ事業	6,724 (19.3%)	<b>8,521</b> <b>(19.7%)</b>	+26.7%	<b>インダストリアルコンポーネンツ事業</b> 主力の米州、中国において制御用リレーの売上が増加
オートメーション事業/ センシング事業	5,074 (14.6%)	<b>6,244</b> <b>(14.5%)</b>	+23.0%	<b>オートメーション事業/センシング事業</b> 日本、米州、EMEAで、依然としてプログラマブル表示器やプログラマブルコントローラの需要が堅調に推移
安全・防爆事業	4,316 (12.4%)	<b>5,554</b> <b>(12.9%)</b>	+28.7%	<b>安全・防爆事業</b> 日本や中国を中心に、安全関連機器の需要が大幅に伸長
システム	1,755 (5.0%)	<b>2,163</b> <b>(5.0%)</b>	+23.3%	<b>システム</b> 日本で半導体・物流関連設備などの制御盤の売上が増加
その他	644 (1.8%)	<b>688</b> <b>(1.6%)</b>	+ 6.8%	<b>その他</b> 日本において、環境エネルギー事業のシステム関連の需要が増加
合計	34,856 (100.0%)	<b>43,180</b> <b>(100.0%)</b>	+23.9%	

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

9

製品別売上高については、すべての事業が前期を上回り、好調な状況が続いております。

スイッチ事業は、グローバル全地域において売上が伸長し、インダストリアルコンポーネンツ事業は、主力市場である米州や中国において、制御用リレーなどを中心に売上が伸長いたしました。

オートメーション/センシング事業についても、日本や米州、EMEAで需要が堅調に推移しております。

安全・防爆事業は、日本や中国を中心に、安全関連機器の需要が大幅に伸長していることから、売上が拡大いたしました。

# 製品別売上状況 (四半期推移)



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

10

四半期別推移については、ご覧の通りです。

- 生産増強の推進などの効果もあり、受注残の消化が進んでいる
- 米州は円安影響に加え、Oil & Gas業界などを中心に受注は高水準で推移

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2022年3月期 上期		2023年3月期 上期			
	受注高	受注残高	受注高	前年同期比	受注残高	前年同期比
日本	22,970	12,448	<b>19,581</b>	△14.8%	<b>17,940</b>	+44.1%
米州	7,405	3,520	<b>9,390</b>	+26.8%	<b>6,635</b>	+88.5%
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	8,505	5,923	<b>7,974</b>	△6.2%	<b>8,229</b>	+38.9%
アジア・ パシフィック	8,465	4,801	<b>6,647</b>	△21.5%	<b>5,411</b>	+12.7%
合計	47,347	26,694	<b>43,593</b>	△7.9%	<b>38,218</b>	+43.2%

受注高については、継続的に進めてきたグローバルでの生産増強の効果もあり、受注残の消化が進んでおります。

また、長引く市場の供給懸念の影響から、実需を上回る受注が続いておりましたが、足元では落ち着きを取り戻してきております。

米州については、第1四半期から継続して、Oil & Gasなどの業界を中心に、オートメーション製品やスイッチをはじめとする主力製品の受注が増加いたしました。

## 受注状況 (四半期)



- 日本は7月からの価格改定の影響で2Qは減少（10月は回復傾向）
- APEMの好調な受注によりEMEAは1Q比で増加

単位：百万円 ※百万円未満切捨て	2022年3期						2023年3期			
	2Q (7月~9月)		3Q (10月~12月)		4Q (1月~3月)		1Q (4月~6月)		2Q (7月~9月)	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
日本	11,712	12,448	12,204	16,069	11,129	18,048	11,057	19,875	<b>8,524</b>	<b>17,940</b>
米州	3,875	3,520	3,547	4,459	3,688	5,060	4,874	6,405	<b>4,515</b>	<b>6,635</b>
EMEA (欧州、中東、アフリカ)	4,613	5,923	2,677	5,853	3,730	6,708	3,555	7,428	<b>4,418</b>	<b>8,229</b>
アジア・ パシフィック	4,350	4,801	4,003	5,345	6,125	8,048	3,746	7,232	<b>2,901</b>	<b>5,411</b>
合計	24,551	26,694	22,432	31,727	24,673	37,866	23,233	40,942	<b>20,359</b>	<b>38,218</b>

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

12

四半期別の推移はご覧の通りです。

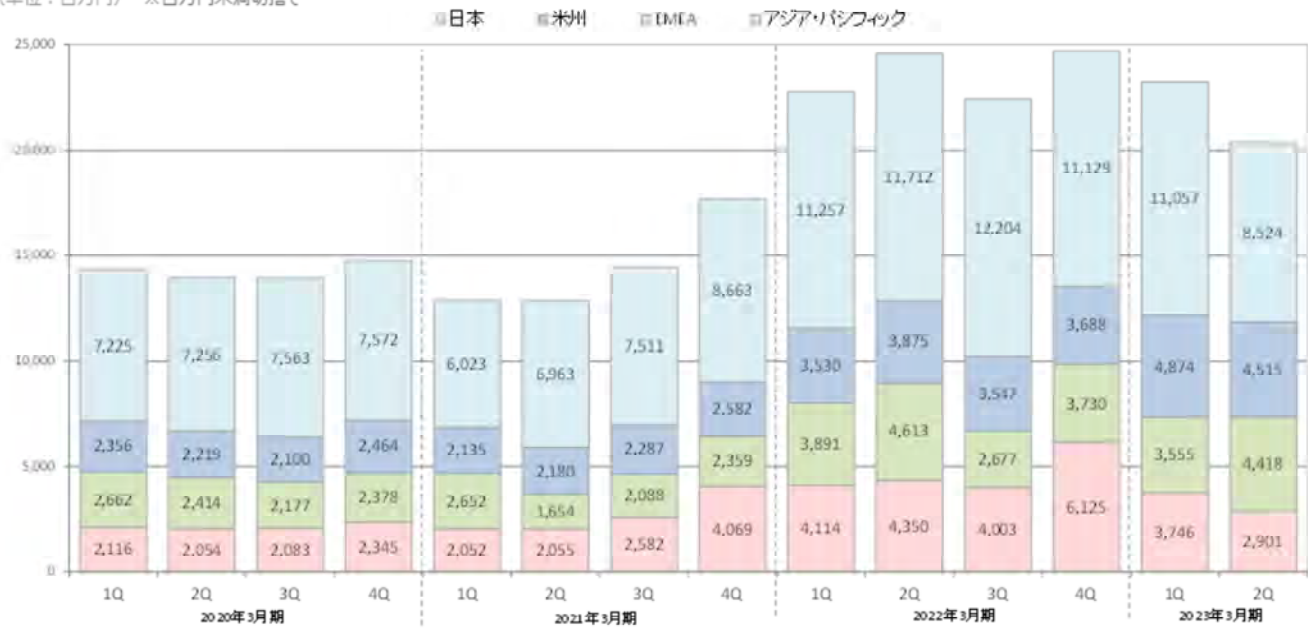
第2四半期については、日本は7月受注分から製品価格の改訂を行っているため、受注高が減少いたしましたが、10月については、回復傾向となっております。

APEMについては、期ずれの影響もありますが、好調な受注状況となりました。

# 受注状況（四半期推移）



(単位：百万円) ※百万円未満切捨て



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

## 連結業績概要 <連結貸借対照表>



### 資産のポイント

- 棚卸資産や売上債権、固定資産、現金及び預金が増加したことなどにより、総資産は前期末比98.4億円増加

### 負債のポイント

- 借入金が減少した一方、仕入債務やリース債務が増加したことなどにより、総負債は前期末比13.8億円増加

### 純資産のポイント

- 為替換算調整勘定や利益剰余金の増加などにより、純資産は前期末比84.6億円増加

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2022年3月期 (前会計年度)	2023年3月期 (9月末)	前会計年度末比 増減
流動資産	47,171	54,453	+7,281
固定資産	47,789	50,355	+2,566
流動負債	21,660	23,130	+1,470
固定負債	24,291	24,205	△ 86
純資産	49,008	57,472	+8,463
総資産	94,960	104,808	+9,848
自己資本比率	51.2%	54.5%	+3.3%

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

14

資産については、売上拡大に伴い、棚卸資産や売上債権が増加し、また固定資産や現預金なども増加したことから、総資産は前期末比で約98億円増加いたしました。

棚卸資産は、納期対応のために完成品在庫がグローバルで増加していることに加え、部材調達難による先行手配などにより、材料在庫や仕掛品在庫も増加いたしました。

自己資本比率は前期末比で3.3%上がり、54.5%となりました。



## 連結業績概要 <連結CF計算書>



### 営業活動によるCF

- 前期の大幅な増益に伴う法人税等の納付や棚卸資産、売上債権の増加などにより約34.3億円

### 投資活動によるCF

- 固定資産の取得などにより△14.8億円

### 財務活動によるCF

- 借入金の返済や配当金などの支出により△23億円

(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2022年3月期 上期	2023年3月期 上期	前年同期比増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,245	3,432	△1,813
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,673	△1,482	+191
フリー・キャッシュ・フロー (FCF)	3,572	1,950	△1,622
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,601	△2,301	+299
現金及び現金同等物の期末残高	16,135	15,521	△613
設備投資額	1,135	1,880	+745
減価償却費	1,617	1,720	+102

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

15

営業活動によるキャッシュ・フローについては、前期の大幅な増収に伴う法人税等の納付増加や棚卸資産が増加した影響などにより、前期比で減少し、約34億円の収入となりました。

設備投資額については、拠点再編に係る費用に加え、国内事業所への自家消費型太陽光発電設備の設置や、国内外工場への機械設備や金型投資などにより、約19億円となりました。

## 通期の業績予想

続いて、通期の業績予想についてご説明いたします。

## 2023年3月期 通期業績予想の修正



### ■ 2022年9月22日に業績予想を上方修正

(単位：百万円) ※百万円未満切り捨て	2022年3月期		2023年3月期				
	実績	対売上比	期初予想	対売上比	修正予想	対売上比	前期比
売上高	70,789	100.0%	74,500	100.0%	83,500	100.0%	+18.0%
売上総利益	30,310	42.8%	32,500	43.6%	36,150	43.3%	+19.3%
販売費及び一般管理費	20,638	29.2%	21,700	29.1%	22,750	27.2%	+10.2%
営業利益	9,672	13.7%	10,800	14.5%	13,400	16.0%	+38.5%
経常利益	10,398	14.7%	10,800	14.5%	14,000	16.8%	+34.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,896	11.2%	7,500	10.1%	9,400	11.3%	+19.0%
1株当たり当期純利益 (潜在株式調整前)	264.12円	-	250.88円	-	323.77円	-	+59.65円
米ドル平均レート (円)	112.40円		120円		134円		+21.60円
ユーロ平均レート (円)	129.91円		130円		135円		+5.09円
人民元平均レート (円)	17.51円		18.5円		19.5円		+1.99円

Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

17

通期の業績予想については、9月22日に上方修正を発表し、そこからは変更していません。

## 2023年3月期 連結売上高予想

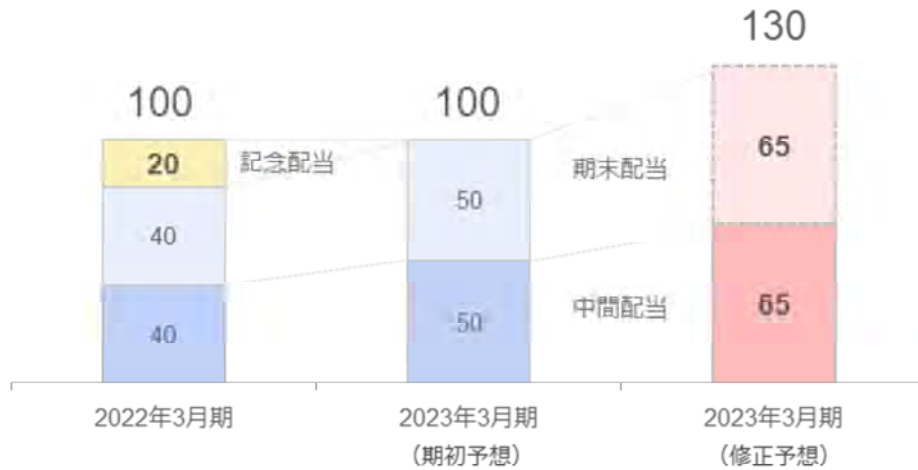


(単位：百万円) ※百万円未満切捨て	2022年3月期		2023年3月期	
	実績	期初予想	修正予想	前期比
スイッチ事業	33,191	35,500	39,400	+18.7%
インダストリアルコンポーネンツ事業	13,625	14,500	17,000	+24.8%
オートメーション事業/センシング事業	9,958	9,100	10,600	+ 6.4%
安全・防爆事業	8,908	9,800	10,900	+22.4%
システム	3,742	4,500	4,500	+20.2%
その他	1,363	1,100	1,100	△19.3%
合 計	70,789	74,500	83,500	+18.0%
国内売上高	30,904	32,000	34,200	+10.7%
海外売上高	39,885	42,500	49,300	+23.6%
(海外比率)	56.3%	57.0%	59.0%	

## 2023年3月期 配当予想



- 年間配当予想100円から130円（中間配当65円、期末配当65円）に今回上方修正
- 年間の予想配当性向は40.2%



Copyright IDEC Corporation. All rights reserved.

19

配当につきましては、期初予想では中間、期末でそれぞれ50円としておりましたが、15円増配して65円とし、年間配当を130円に上方修正させていただきました。  
予想配当性向は40.2%となります。

引き続き、株主の皆さまに対する積極的な利益の還元を実施してまいります。

通貨	為替前提	1円変動による影響額 ※人民元は0.1円変動の影響額	
		売上高	営業利益
米ドル	134円	約80百万円	約20百万円
ユーロ	135円	約140百万円	約10百万円
人民元	19.5円	約60百万円	約15百万円

通期の為替レートと為替感応度については、ご覧の通りとなっております。



# 中期経営計画

**Slogan** **PASSION FOR YOUR SUCCESS**

長期的には  
**営業利益率20%**を目指す

	2025年3月期計画
売上高	800億円以上 (成長率: >5%/年)
営業利益	130億円以上
営業利益率	16%以上
R O I C	10%以上
R O E	15%以上
E P S	300円以上



2023年3月期業績の上方修正に伴い、  
 中期経営計画の数値目標を上回る状況となったため、  
**2025年3月期の計画数値については見直し**  
**(改めて発表予定)**

今期の業績を上方修正したことから、中期経営計画の数値目標については、改めて見直しをさせていただく予定です。

## 4つの基本戦略

### 成長戦略の推進

- 技術的な課題解決に基づく販売の強化
- 地域・業界ニーズに基づいた製品開発・販売の加速
- 中国、インド、その他重点市場における、M&A、業務提携を含む事業の拡大

### 経営基盤の強化

- ディーセント・ワークの推進
- PMIと各種プロジェクト推進による事業体制の強化
- グローバルでのデジタルマーケティング推進

### 収益性の向上

- コスト・在庫削減、およびリードタイム短縮に向けた生産体制・プロセスの最適化
- 販売管理費の見直し・最適化
- 不採算製品・事業の選択と集中

### ESGの取組み強化

- 環境負荷低減に向けた取組み推進
- ダイバーシティの促進
- 経営の透明性・効率性の向上
- 安全・安心技術によるウェルビーイング創出
- 高い製品品質・ものづくり能力の向上

現在、中計の目標達成に向けて、ご覧の4つの基本戦略に基づく取り組みを推進しております。

## 成長戦略の推進

## 収益性の向上

- 2021年4月から国内営業部を販社化し、各種取り組みを推進することで、**業務効率化を推進**
  - ✓ **営業所の集約**（2021年に2拠点へ集約）
  - ✓ 積極的な販売を行ってもらえる代理店との取引に特化する**代理店網の再編**
  - ✓ **売価の適正化**
  - ✓ 収益性の高い新製品比率の向上など、**製品ミックスの見直し**
  - ✓ 製品拡販に向けた**新しい販売網の構築**  
（例：各地域での協業検討、APEM（特殊車両業界）やez-Wheel（AGV・AMR業界）など特定製品拡販のための商社・Slerとの提携）
  - ✓ SFDC、ECサイトの活用など**DX推進**
- 2022年4月に「技術営業部」を立ち上げ、機能を強化することで、お客さまの課題を解決できる**ソリューション営業を積極展開**

成長戦略、収益性向上の一環として、昨年4月に国内営業部を販社化し、さまざまな取り組みを推進しております。

拠点を集約し、代理店網の再編を行うことで、効率的な営業体制に変革しております。また売価の適正化や、収益性の高い新製品への置き換えの促進も行っており、こういった取り組みが、収益性の改善にも寄与しております。

同時に、APEM製品や、ez-Wheel製品などを拡販していくための新しい販売網の構築や、各地域での協業の検討なども行っております。

今年4月からは、技術営業部を立ち上げることで、お客さまからニーズをヒアリングし、課題を解決することができるソリューションを提案する活動を強化しております。

### 収益性の向上 生産能力の増強をグローバルで推進

- **収益性が高く、グローバルで需要が高水準で推移している製品**を中心に設備を増強
- 製造設備に関する投資金額は**約1.6倍**（2020年3月期比）
- **生産ラインの増設、海外工場への生産移転、自動化設備の導入**などを実施

- ✓ **スイッチ**：一部シリーズの小形スイッチや薄型スイッチなど生産能力が**2倍～3倍**に拡大（2020年3月期比）
- ✓ **安全関連機器**：一部シリーズは生産能力が**2倍～5倍以上**に（2020年3月期比）



また受注増加に対応するため、生産能力の増強をグローバルで推進してまいりました。

収益性が高く、グローバルで需要が高水準で推移している、スイッチや安全関連機器などを中心に、設備の増強に取り組んでおります。

各生産拠点の生産ラインの増設や、需要が現地で拡大している製品の海外工場への生産移管、自動化設備の導入などをグローバルで推進しており、生産増強をした一部シリーズの生産能力は、コロナ前と比べて数倍に拡大しております。

## 新製品の紹介

続いて、新製品についてご紹介させていただきます。



### 市販のタブレットに、非常停止用押ボタンスイッチとイネーブルスイッチを簡単装着することができる**セーフティコマンダ「HT4P形」**

- 無線LAN接続タイプ「HT3P形」を2021年1月から発売開始
- 有線通信のニーズが高いことから、**有線LAN接続に対応**した「HT4P形」の発売を開始

#### 【活用シーン】

- ロボットのティーチング
- 大型装置、機械の操作制御
- 自動車生産ラインや搬送ラインの制御
- 半導体製造装置、チップマウンタ、食品機械、包装機械などの装置制御
- AGV・AMRなどのマニュアル制御 など

参考：[ニュースリリース](#)



市販のタブレットに、非常停止用押ボタンスイッチとイネーブルスイッチを簡単に装着することができる、セーフティコマンダの無線LAN接続タイプを2021年1月から発売しておりましたが、より安定した通信を実現することができる、有線LAN接続タイプを新発売いたしました。

ワンタッチで多様なタブレットに安全機能を取り付けられることから、ロボットのティーチングや装置・生産ラインの制御において、安全性、利便性の向上や開発コスト削減に貢献いたします。

## 差し込むだけの簡単配線で、省工数と安全・安心な配線作業を実現する ワイドミュラー社の端子台「Klippon Connect ASシリーズ」

- 2019年にワイドミュラー社（ドイツ）と戦略的パートナーシップ契約を締結し、ワンタッチで配線可能なPush-in接続方式を搭載した各種製品の拡充を推進
- Push-in式を進化させた**SNAP-IN接続技術採用**の「ASシリーズ」の発売を開始

- 配線時に、**工具やフェールが不要**
- 被覆を剥いたより線を、端子台の接続口に差し込むだけの簡単配線を実現



被覆を剥いた電線を接続口に入れます。電線へのフェール端子装着準備は不要です。



ばねが閉じると「カチッ」という音と共にプッシャーが飛び出して確実に結線されたことがわかります。



プッシャーを工具で押すことで、すばやく、簡単に電線を取り外すことができます。



Innovation by

IDEC :: Weidmüller

参考：[ニュースリリース](#)

こちらは、2019年にパートナーシップ契約を締結した、ワイドミュラー社の新しい端子台です。

差し込むだけの簡単配線が実現できる、Push-in接続方式をさらに進化させた、SNAP-IN技術を採用した新しい製品を発売しました。

工具やフェールが不要となるため、接続口に差し込むだけで、誰でも簡単に配線でき、省工数と、安全・安心な作業環境を実現いたします。

## 社外からの評価

続いて、社外からの評価についてご紹介させていただきます。

- 技術経営担当 常務執行役員である藤田俊弘が、20年以上にわたり牽引役として推進してきた、多角的・多面的な日本発の国際標準化・国際ルール形成活動への貢献を高く評価いただき、経済産業省の令和4年度「産業標準化事業」において、**内閣総理大臣表彰を受賞**

### 【主な功績】

- 3ポジションイネーブルスイッチのIEC規格発行による、産業用ロボットなど多様な現場の安全性向上への貢献
- 日本発で次世代の安全思想「協調安全（Safety2.0）」を提唱し、グローバルに発信
- 機械安全の要員資格認証制度の構築と、国際標準化に向けた活動の推進
- 日本発のファインバブル<sup>※</sup>の国際標準化の推進  
※直径が100 $\mu$ m (=0.1mm) より小さな泡のこと



2022年10月に行われた産業標準化事業表彰式  
（左）経済産業大臣政務官 長峯誠氏、（右）常務執行役員 藤田俊弘

参考：[ニュースリリース](#)

2022年10月に、技術経営担当の常務執行役員である藤田俊弘が、今年度の産業標準化事業において、内閣総理大臣表彰を受賞いたしました。  
今回の受賞は、長年推進してきた、日本発の国際標準化・国際ルール形成活動への貢献を高く評価いただいたものです。

IDECは、1950年代から世界の標準規格をいち早く導入した製品開発を推進するとともに、1990年代からは、国際標準化活動を積極的に推進してまいりました。

今後も、明日の「当たり前」となる、新しいスタンダードの開拓者になることで、全ての人々に安心とウェルビーイングをもたらす、より安全で持続可能な社会の実現を目指してまいります。

- **国内すべての製造拠点で労働安全衛生マネジメントシステムの認証を取得し、安全衛生活動を継続的に向上させる安全文化の醸成に取り組むなど、顕著な成果をあげたとの評価をいただき、中央労働災害防止協会の会長賞※を受賞**

※ 中央労働災害防止協会の事業活動に深い理解を有し、産業安全及び労働衛生の推進向上に努め、著しい成果を収めるとともに、広く地域又は業界に対しても普及啓発に尽くし顕著な功績が認められた企業又は団体に対して贈られる賞



2022年10月に行われた授賞式で表彰状を受け取る  
生産・SCM担当 常務執行役員 赤松浩二

参考：[ニュースリリース](#)

労働安全衛生分野に関しましても、10月に中央労働災害防止協会の会長賞を受賞いたしました。



## FTSE Blossom Japan Sector Relative Indexに続き FTSE Blossom Japan Indexにも初選定

- 2022年にFTSEの2つのインデックスに初めて選定
- S&P/JPXカーボン・エフィシエント指数に加え、SOMPOサステナビリティ・インデックスの構成銘柄にも2021年、2022年の2年連続で選定



FTSE Blossom  
Japan Index



FTSE Blossom  
Japan Sector  
Relative Index

2022



Sompo Sustainability Index



S&P/JPX  
カーボン  
エフィシエント  
指数

ESGインデックスについては、これまでの取り組みをご評価いただき、2022年にFTSE の2つのインデックスに初めて選定されました。

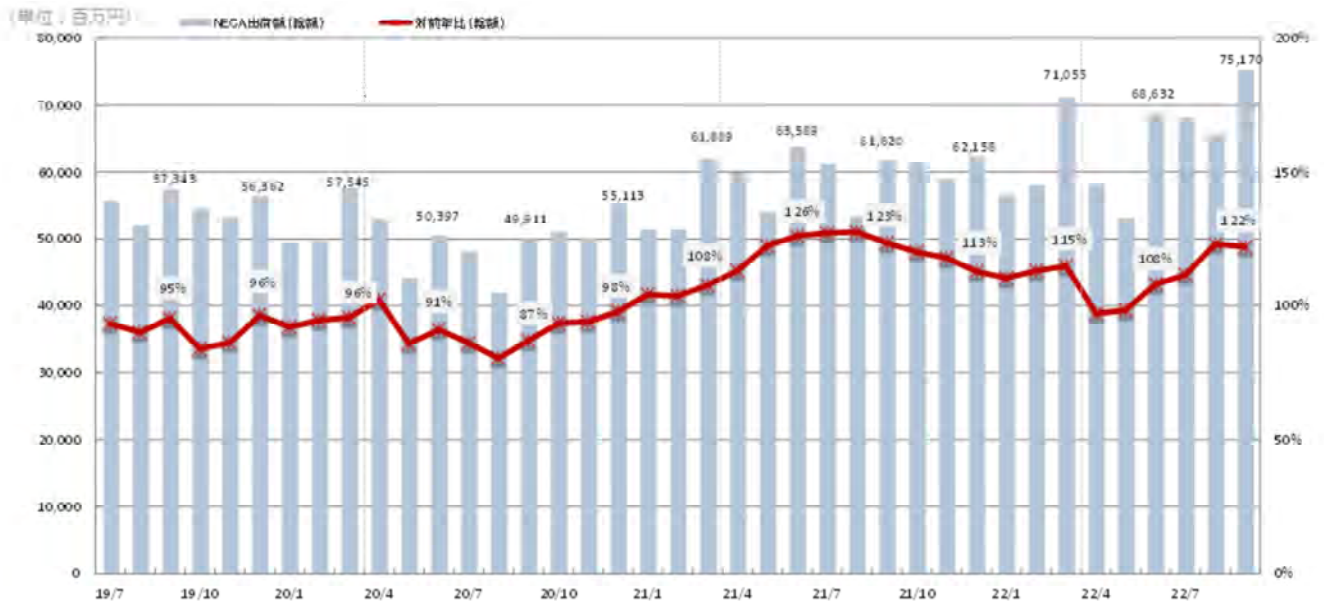
また、SOMPOサステナビリティ・インデックスの構成銘柄にも2年連続で選定されております。

引き続き、持続可能な社会の実現に向けた、ESGの取り組みを推進してまいります。

## 参考資料



19年7月～22年9月の業界出荷額推移と対前年比の状況



スイッチ	インダストリアル コンポーネント	オートメーション/ センシング	安全・防爆	システム	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>制御用操作スイッチ</li> <li>ジョイスティック</li> <li>表示灯</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="background-color: red; color: white; text-align: center; padding: 2px;"> <b>APEM製品</b> </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>スイッチング電源</li> <li>端子台</li> <li>制御用リレー/ソケット</li> <li>サーキットプロテクタ</li> <li>産業用LED照明</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>プログラマブルコントローラ</li> <li>プログラマブル表示器</li> <li>センサ</li> <li>自動認識機器</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安全関連機器</li> <li>防爆関連機器</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>協働ロボットシステム</li> <li>表示器統合システム</li> <li>セキュリティシステム</li> <li>その他各種システム</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>環境・エネルギー関連事業</li> <li>次世代農業ソリューション</li> </ul> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div> <div style="border: 1px solid gray; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <span style="color: red;">✕</span> この画像は表示できません。                 </div>

この資料には一部当社の計画や業績予想が含まれていますが、それらの計画や予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が計画、予想したものです。

従って、実際の業績などは、今後さまざまな要因によって計画、予想数値と異なる結果となる可能性があります。

IDEC株式会社

経営戦略企画部

TEL : 06-6398-2505

FAX : 06-6398-2587

E-mail : yasuyuki.ogawa@idec.com

